



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日 東

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部門長 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,043	2.8	104	328.4	142	122.4	107	192.7
26年3月期第2四半期	9,767	17.3	24	—	63	—	36	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 188百万円(125.2%) 26年3月期第2四半期 83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.79	—
26年3月期第2四半期	0.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,802	13,400	64.4
26年3月期	20,664	12,897	62.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,400百万円 26年3月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	8.5	150	—	220	—	190	—	4.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	41,207,730株	26年3月期	41,207,730株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,498,098株	26年3月期	2,497,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	38,710,255株	26年3月期2Q	38,717,015株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、金融政策や財政政策により景気は緩やかな回復傾向にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響により個人消費の回復に足踏みが見られる等、先行きの不透明感が払拭されないまま推移しました。

このような状況下、当社グループは既存製品の拡販と安全・安定操業に注力することで設備稼働率の維持・向上に努めると共に自らの努力で実現できるロス・ムダの削減、業務改善、固定費削減等の積み重ねによる体質強化に注力してまいりました。加えて、中期経営計画のコンセプトである「機能化学品の川崎化成への進化」に向け、既存の機能化学品の拡販や新規用途分野への展開、新規機能化学品の本格展開等に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は前年同期に対して2.8%増の10,043百万円（前年同期比276百万円増収）となりました。

損益面では、主に既存の機能化学品の増収効果に加え、グループ全体の取り組みによる固定費削減効果や設備稼働率の上昇に伴う生産コストの低減により前年同期に比べ改善し、営業利益は104百万円（前年同期比79百万円増益・328.4%増）、経常利益は142百万円（前年同期比78百万円増益・122.4%増）、四半期純利益は107百万円（前年同期比71百万円増益・192.7%増）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

## ① 化学品事業

## ・有機酸製品

無水フタル酸は、国内販売数量が増加したものの輸出が減少したため、全体としては若干の減収となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は販売数量の減少により大幅な減収、フマル酸は前年同期並の売上となりました。

## ・有機酸系誘導品

可塑剤及びマキシモール<sup>®</sup>は販売数量の増加により増収となりました。

## ・キノン系製品

パルブ蒸解助剤SAQ<sup>®</sup>は販売数量の減少により大幅な減収、アントラキノン、ナフトキノン及び農薬原体アセキノシルは販売数量の増加により大幅な増収となりました。脱硫触媒NQS<sup>®</sup>は販売数量の減少により若干の減収となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は10,002百万円（前年同期比260百万円増収・2.7%増）、営業利益は98百万円（前年同期比68百万円増益・223.4%増）となりました。

## ② その他の事業

その他の事業につきましては、売上高は40百万円（前年同期比15百万円増収・61.7%増）、営業利益は3百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は20,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。

流動資産は、主に短期貸付金は減少しましたが、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ214百万円増加し、10,648百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、10,153百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円減少いたしました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少により、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、4,260百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付会計基準等の改正に伴う退職給付に係る負債の減少により、前連結会計年度末に比べ364百万円減少し、3,141百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,400百万円となり、前連結会計年度末に比べ503百万円増加いたしました。

株主資本は、主に四半期純利益の計上並びに退職給付会計基準等の改正に伴う期首利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し、10,125百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、3,274百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,282百万円減少し、1,710百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は749百万円（前第2四半期連結累計期間比451.9%増）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益142百万円、減価償却費309百万円、定期修繕引当金の増加73百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加659百万円、たな卸資産の増加803百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は435百万円（前第2四半期連結累計期間比82.9%増）となりました。

主な支出は有形固定資産の取得による支出430百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は97百万円（前第2四半期連結累計期間比28.5%減）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額76百万円、リース債務の返済による支出20百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年5月9日に発表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が392百万円減少し、利益剰余金が392百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	242	163
受取手形及び売掛金	5,006	5,665
商品及び製品	1,552	2,359
仕掛品	286	258
原材料及び貯蔵品	509	533
短期貸付金	2,749	1,546
その他	87	120
流動資産合計	10,434	10,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,757	1,700
機械装置及び運搬具(純額)	1,658	1,464
土地	5,862	5,862
その他(純額)	121	215
有形固定資産合計	9,398	9,242
無形固定資産	147	126
投資その他の資産	683	784
固定資産合計	10,230	10,153
資産合計	20,664	20,802
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,862	2,772
短期借入金	100	100
未払法人税等	0	47
賞与引当金	188	192
修繕引当金	65	138
その他	1,045	1,008
流動負債合計	4,261	4,260
固定負債		
リース債務	81	61
再評価に係る繰延税金負債	1,704	1,704
繰延税金負債	153	186
役員退職慰労引当金	58	67
退職給付に係る負債	1,277	889
資産除去債務	229	231
固定負債合計	3,505	3,141
負債合計	7,767	7,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,272	1,695
自己株式	△401	△401
株主資本合計	9,702	10,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	287
土地再評価差額金	3,082	3,082
退職給付に係る調整累計額	△112	△94
その他の包括利益累計額合計	3,194	3,274
純資産合計	12,897	13,400
負債純資産合計	20,664	20,802



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,767	10,043
売上原価	8,629	8,912
売上総利益	1,137	1,130
販売費及び一般管理費	1,113	1,026
営業利益	24	104
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	17	11
固定資産賃貸料	26	26
その他	4	4
営業外収益合計	49	44
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	7	3
固定資産除却損	0	2
その他	1	0
営業外費用合計	9	6
経常利益	63	142
税金等調整前四半期純利益	63	142
法人税、住民税及び事業税	28	34
法人税等調整額	△2	△0
法人税等合計	26	34
少数株主損益調整前四半期純利益	36	107
四半期純利益	36	107

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36	107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	62
退職給付に係る調整額	-	17
その他の包括利益合計	46	80
四半期包括利益	83	188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83	188
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	63	142
減価償却費	277	309
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	4
修繕引当金の増減額(△は減少)	97	73
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	21
受取利息及び受取配当金	△18	△13
支払利息	0	0
有形固定資産除却損	0	2
売上債権の増減額(△は増加)	△54	△659
たな卸資産の増減額(△は増加)	△442	△803
その他の流動資産の増減額(△は増加)	22	△35
仕入債務の増減額(△は減少)	△132	△89
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45	259
その他	10	4
小計	△114	△774
利息及び配当金の受取額	18	13
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△39	△2
法人税等の還付額	-	14
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△135</b>	<b>△749</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△236	△430
有形固定資産の除却による支出	△1	-
その他	△0	△5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△238</b>	<b>△435</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	100
短期借入金の返済による支出	-	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△115	△76
リース債務の返済による支出	△20	△20
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△135</b>	<b>△97</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△509</b>	<b>△1,282</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,595	2,992
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,086</b>	<b>1,710</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,742	25	9,767	—	9,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	58	58	△58	—
計	9,742	83	9,825	△58	9,767
セグメント利益又は損失(△)	30	△8	22	2	24

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,002	40	10,043	—	10,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	54	54	△54	—
計	10,002	94	10,097	△54	10,043
セグメント利益	98	3	102	2	104

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「化学品事業」のセグメント利益が4百万円減少しております。